

保証書

持込修理

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

品名	工業扇	型式	CFF451TMA/CFF451DMA/CFF451WMA/CFF451FMA
保証期間	1年間	★お買上日	年 月 日
ご住所	〒 TEL		
お名前	様		
★販売店	住所・店名 電話番号	販売店印又は保証書・レシート添付欄	

★印刷に入らない場合は無効となります。必ずお守りください。
お買上の日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体銘板その他の法曹署名に記した正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき、お買上の製品を修理いたします。修理と本書保証書をご持参ご提示の上、お買上の販売店にご依頼ください。
1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
ロ. お買上の落下、引当し、転倒による故障または損傷。
ハ. 火災・地震・水害・雷害その他の天災地変などによる公害や電気配線その他の外部要因による故障または損傷。
ニ. 本書の提示がない場合。
ホ. 本書のお買上日、お客様、販売店名の記入のない場合、あるいは印字が書き換えられた場合。
2. 電気の都合や事故によるお買上の販売店にて修理させていただきます。
3. 工業扇本体等本書に記載してあるお買上の販売店に修理を依頼されることができない場合には、本書記載の当社にお任せください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によりお客様の法的上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上の販売店または本書記載の当社にお任せください。
商品についての全般的なご相談
☎フリーダイヤル
受付時間：平日9:00～17:30
0120-295-595
株式会社 広電
〒170-0013 東京都小平市三軒松本1丁目32番7号
http://www.koden-j.co.jp/

KODEN

工業扇
取扱説明書
〔産業用〕〔保証書付〕

型式

CFF

羽根
45cm

451TMA	〔三脚型〕 〔フルモーター〕
451DMA	〔簡便型〕 〔フルモーター〕
451WMA	〔壁掛け型〕 〔フルモーター〕
451FMA	〔床置き型〕 〔フルモーター〕

このたびは当社の製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。

目次

①製品の仕様

②安全上のご注意

③組み立て方法

④正しい使い方

⑤お手入れと保管

⑥故障かな?と思ったら

⑦保証とアフターサービス

①製品の仕様

型 式	CFF451TMA	CFF451DMA	CFF451WMA	CFF451FMA
定 格	50Hz 60Hz	50Hz 60Hz	50Hz 60Hz	50Hz 60Hz
消費電力 (W)	強 100 105 弱 70 80	強 100 105 弱 70 80	強 100 105 弱 70 80	強 100 105 弱 70 80
風 量 (m³/min)	強 55 65 弱 44 46	強 55 65 弱 44 46	強 55 65 弱 44 46	強 55 65 弱 44 46
風 速 (m/min)	強 144 163 弱 144 163	強 144 163 弱 144 163	強 144 163 弱 144 163	強 144 163 弱 144 163
羽 根 寸 法 (直 径)	45cm			
電 源 コ ー ド	約 1.8 m	約 1.8 m	約 1.8 m	約 1.8 m
寸法 (幅×奥行×高さ mm)	約80×70×120-130	約510×300×603	約510×385×10	約565×302×532
質 量	約 5.2kg	約 4.6kg	約 4.2kg	約 4.3kg
電 気 代 価 (1kWhあたり)	約27円 約28円	約27円 約28円	約27円 約28円	約27円 約28円

●製品品質向上のため、予告なく仕様変更する場合があります。
●電気代は強運転時の消費電力を1kWh/27円(税込)で算出しています。
この商品は日本国内専用です。

FOR USE IN JAPAN ONLY
621138400

③組み立て方法(つづき)

CFF451DMA (据置き型)

各部の名称

後ガード 取っ手
前ガード
羽根
スタンド
風量切換スイッチ
首振りつまみ
モーター
構成部品

品 名	数 量
モーター・スタンド	1
羽根・ガード(前・後)	1セット

CFF451WMA (壁掛け型)

各部の名称

後ガード 取っ手
前ガード
羽根
風量切換スイッチ
壁面取付金具
ひも
構成部品

品 名	数 量
モーター・壁面取付金具	1セット
羽根・ガード(前・後)	1セット

壁面取付金具寸法図 (単位:mm)

82
78
113
48
105
82
83
106

③組み立て方法(つづき)

CFF451WMA (壁掛け型) (つづき)

取り付け例

例①

壁面取付金具寸法図を参照し、壁面にボルト固定用の穴を開けます。M4六角ボルト(4本)「ナット(4個)」「スプリングワッシャー(4枚)」「ワッシャー(8枚)」を使用して本体を固定します。(別途お買い求めください)
1. アンカーボルトを付けたい位置に固定方法は、設置面の仕様に合わせて。
2. 壁面取付金具を入れて、平ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットの順に入れてしっかりと締め付け取り付け完了。

例②

壁面取付金具を参照し、壁面にアンカーボルト用の穴を開けます。M5アンカーボルト(4本)「ナット(4個)」「スプリングワッシャー(4枚)」「ワッシャー(4枚)」を使用して本体を固定します。(別途お買い求めください)
1. アンカーボルトを付けたい位置に固定方法は、設置面の仕様に合わせて。
2. 壁面取付金具を入れて、平ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットの順に入れてしっかりと締め付け取り付け完了。

注意

取り付け場所については、落下の恐れがあるの十分に注意のある場所に取付けます。
※取り付け用ボルト/アンカーボルトは、取り付ける壁の材質・強度により最適なものを選択してください。
※M6コンクリート用アンカーボルトまで取り付け可能。

②安全上のご注意

記号の絵表示について

人への危害や財産の損害を未然に防ぐための重要な内容です。必ずお守りください。

★誤った使い方をされたら起きる被害を2つに区分

警告	①人が死亡や重傷を負うおそれがある内容
注意	②人が傷害を負うおそれや財産の損害を負うおそれがある内容

・本文中の絵表示の表す意味です。

してはいけない(禁止)の内容です。	一般的な禁止
必ず実行していたく「強制」の内容です。	ぬれ手禁止
	必ず行う
	電源プラグを抜く

②安全上のご注意(つづき)

警告

次の場所や屋外では使用しない。
感電・ショート、および火災、爆発の恐れがある。また、事故や故障の原因になる。
・火気の近く、雨や水はびきりかかる場所、湿度の高い(40℃を超える)場所
・湿度の高い(80%を超える)場所、蒸気が多く発生する場所、油や油煙が製品に接触する場所
・ガスや蒸気、化学物質などの爆発性物質が発生する場所
・灯油、ガソリン、シンナー、ペンジン、塗料など引火性のものがある場所
・漏電・感電・火災などの原因になる。
髪や髪の毛の長い方、ダブついた服を着た方は絶対に近付かない。
髪や髪の毛が巻き込まれて、回転に巻き付けケガをする恐れがある。
羽根が回転中、ガードに指などを差し込まない。
回転中の羽根で指を切断したり、重大なケガになる。
本体にぶらさけない。
落下や転倒してケガの原因になる。
電源コードを傷ついたり、加工したり、無断で加工したり、改造したり、使用しない。
電源コードが破損し、火災や感電の原因になる。
交流100V以外での使用はしない。
漏電・感電・火災などの原因になる。
カーテン、金網や羽物、風によって飛んできてもいいもの近くで使用しない。
風圧によって巻き込まれたり、又は吹き飛ばされたり、周囲に影響を及ぼすことがある。
子供、身体の不自由な方、高齢者の方には操作をさせたり、近くで使用しない。
ケガをする恐れがある。
本体やガード部分に、衣類やタオル、紙等をかけない。
風圧により、回転部に衣類やタオル、紙等が巻き込まれて故障やケガをする恐れがある。

注意

首振り運転をするときは、本体の回りに障害物のないことを確認する。
障害物に当たる、事故の原因になる。
角度を変えるときは、必ず電源を切り、羽根の回転が止まったことを確認してから行う。
ケガの原因になる。
人手により故障や持ち上げの際は、腰がけをかかずに膝を曲げて持ち上げるようにする。
腰を痛める原因になる。

③組み立て方法(つづき)

CFF451FMA (床置き型)

各部の名称

羽根
ガードリング
取っ手
後ガード
風量切換スイッチ
スタンド
モーター

ご使用になる前に

設置場所
障害物のない平らな面に設置してください。
※本製品は、完成品梱包ですので、そのままご使用いただけます。

④正しい使い方

CFF451TMA/CFF451DMA/CFF451WMA

運転方法

1. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
(電源プラグの抜き差しは運転を停止してから行ってください)
2. 電源/風量切換スイッチで好みの風量に調節します。

注意

電圧(後ガード)や吹出口(前ガード)をふさいだり、物をまきこませたりしないでください。
各部のネジがしっかりと固定されているか確認する。
ネジがしっかりと固定されていない場合、ガードから振動が発生する原因になる。ガードから振動が、発生した場合、運転を停止し、ネジを確認する。
左側の範囲で角度を変えられます。モーター部分を持ち、お好みの角度に調整してください。
必ず電源を切り、羽根の回転が止まってから調整する。
使用中にガードを持って、上下に風向を変えない。
ガードにあたって羽根が破損し、ケガの原因になる。
首振り運転中に、無理に首振りを停止させない。
※故障の原因になる。

3. 運転をやめるときは、電源/風量切換スイッチを「切」に合わせます。
4. 電源プラグを抜きます。

②安全上のご注意(つづき)

注意

設置は、十分な強度のある場所を選び、確実に固定する。
本機転倒によるケガ・事故の原因になる。
本体に異常な振動や歪みが発生した場合は、使用を中止する。
異常な事故やケガの原因になる。
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。
感電やショートして発火する恐れがある。
製品を組み立てるときや、設置するときは、各部のネジ、ボルト、ナット等を確実に締める。
振動でゆるみ、ケガや事故の原因になる。
完全に組み立てが終わった状態で使用する。
不完全なまま使用すると、ケガや事故の原因になる。
使用しないときおよび、お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く。
ケガ、やけど、感電による感電・火災の原因になる。
動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に必ず無料修理を依頼する。
感電・ショートなどによる火災の恐れがある。
設置用・掃除用・整髪用スプレーなどを吹きかけない。
誤用・使用による事故の原因になる。
天井に設置しない。(脚を天井に固定しない)
本機落下によるケガ・事故の原因になる。
導電性(鉄・銅物など)の粉じんが発生する場所では、必ず定期的に掃除する。
感電やケガの恐れがある。
電源コードや延長コードは、巻いたままや寄せ集めた状態で使用しない。
コードが破損して火災の危険がある。必ず伸ばした状態で使用する。
傾斜した所では使用しない。
故障やケガの恐れがある。
電源プラグにピンやゴミを付着させない。
感電やショートして発火する恐れがある。
電源コードやプラグが破損したり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電やショートして発火する恐れがある。
傾斜した場所には設置しない。
共振して、羽根やガードが破損し、事故の原因になる。

②安全上のご注意(つづき)

注意

延長コードを使用するときは、公称断面積が0.75mm²以上のものを使用する。
コードが破損して火災の危険がある。
換気扇として使用しない。
ダクトや換気扇の中で使用したり、長時間使用すると、モーター焼けや羽根破損などにより、火災や事故の原因になる。
一般家庭での使用はしない。
一般家庭以外の工事などでも使用したため、構造、性能に劣っているため、一般家庭でご使用される場合は、換気扇、換気扇などで使用してください。
羽根などを拭くときは、クワシ、掃除機、ハンカチ、シンナーは使用しない。
羽根や羽根のバランスなどによる故障の原因になる。
電源コードに重荷物をのせたり、挟み込まない。
電源コードが破損し、火災や感電の原因になる。
運転停止直後にモーターシャフトに接触しない。
高温のため、火傷の恐れがある。
羽根が回転中、器物を当てたり、差し込まない。
羽根の歪みや破損を原因とした事故になる。

必ずお守りください

事故防止のため、次の事項を必ず守って使用してください。運転中は羽根が高速で回っているため、大変危険です。
●小さな子供が、指などを入れないよう保護者が注意する。
●ガードを外した状態で絶対に運転しない。
●使用時は電源プラグを抜く。

③組み立て方法

ガードと羽根の組み立て(共通)

注意

●厚手の手袋を着用して組み立てる。
※検査部品などの切り口により、手を切る恐れがある。
●羽根に貼り付けたあるスクリューをはずさない。
●固定ネジは必ず2本を確実に、緩まないようしっかりと締め付ける。
●羽根を付けたままに運転しない。
※温度過昇防止装置によって、使用できなくなる可能性がある。

④正しい使い方(つづき)

CFF451FMA (床置き型)

1. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
(電源プラグの抜き差しは運転を停止してから行ってください)
2. 電源/風量切換スイッチで好みの風量に調節します。

注意

吸込口(後ガード)や吹出口(前ガード)をふさいだり、物をまきこませたりしないでください。
＜上下風向きの調節＞
取っ手を持ち、吹出口(前ガード)をお好みの角度に調整してください。

3. 運転をやめるときは、電源/風量切換スイッチを「切」に合わせます。
4. 電源プラグを抜きます。

⑤お手入れと保管

お手入れ

注意

●厚手の手袋を着用して、組み立て・取り外しを行う。
※検査部品などの切り口により、手を切る恐れがある。
●羽根・ガードを確実に取り外す。
※羽根・ガードを外したとき、ケガをする恐れがある。

保管

●保管するときは必ず電源プラグをコンセントから抜く。
※感電やケガをする恐れがある。
●ガードの前面とビニール袋を必ず重ねて保管する。
●ビニール袋で覆った後、ガード部分にひもをかける。
※間違えてスイッチを入れたとき、羽根が回転する。
●下面の位置以外には、ひもをかける。

●標準的な仕様条件 日本工業規格(JIS C9921-1)による

電圧	単相100V
周波数	50Hz/60Hz
温度	30℃
湿度	65%
標準設置(取扱説明書による)	
負 荷 条 件	1日あたり1時間の使用時間 8(h/日) 1日使用回数 5(回/日) 1年間の使用日数 110(日/年) スイッチ動作回数 550(回/年) 首振り運転割合 100(%)

注記 温度30度、湿度65%は、JIS C9901の試験状態を参照している。
●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や取扱いに伴い生ずる劣化をいいます。

③組み立て方法(つづき)

ガードと羽根の組み立て(CFF451TMA/CFF451DMA/CFF451WMA)

キャブ

シャフト

モーター

位置決め穴

後ガード

シャフト(CFF451DMA)

位置決め穴

スピンドル(羽根)

羽根

ネジ(付)

首振り固定ネジ

合わせる

凹部

回り止めのピン

前ガード

上部フック

フック

1. シャフト部の保護用キャブを外します。

2. 首振り固定ネジが固定されているか確認します。
はねが固定されている状態で、組み立てる前に前の確認を行い、しっかりと固定します。

3. 後ガードを組み立てます。
1 取っ手を上にして(CFF451DMAのみ)、モーターの位置決め穴に後ガードの位置決め穴を合わせ、4ヶ所の穴をモーターのネジ穴に合わせます。
2 付属のネジ(4本)を使ってしっかりと固定します。

4. 羽根を取り付けます。
1 羽根の凹部、シャフトの回り止めのピンを合わせ、羽根を差し込みます。
2 付属のスピンドルを羽根の凹部に差し込み、羽根をしっかりと締め付けます。

注意

●羽根を取り付けるときは、羽根の向きに注意し、シャフトの回り止めのピンをかならず羽根の凹部に合わせて取り付けます。
●スピンドルは強く、しっかりと締め付けて固定する。

5. 前ガードを取り付けます。
1 前ガードの4ヶ所のフックを開きます。
2 上部フックを後ガード上部中央位置に合わせて引っ掛け、取り付けます。
3 4ヶ所のフックを最後までロックします。

③組み立て方法(つづき)

CFF451TMA (三脚型)

各部の名称

後ガード 風量切換スイッチ
前ガード
羽根
フロントマーク
三脚ジョイント
三脚パイプ
中脚パイプ
三脚ジョイント
高さ調整ネジ
三脚パイプ
モーター
付属ネジ
固定用ネジ穴

構成部品

品 名	数 量
モーター	1
羽根・ガード(前・後)	1セット
中脚パイプ	1
折りたたみ三脚	1

中脚パイプ、三脚とモーターの組み立て

1. 中脚パイプを3ヶ所、ロックするまで開きます。
2. 中脚パイプの付属ネジをはずし、モーターに中脚パイプを差し込み、ネジをしっかりと固定します。
3. モーター正面がフロントマーク(①)方向に向くようにしながら、三脚ジョイントの取り付け穴に本体パイプを差し込みます。
4. 中脚パイプの高さを調整します。
5. 高さ調整ネジでしっかりと固定します。

注意

本体を取り付けるときは、本体正面と三脚ジョイントのフロントマークが同じ向きになるように取り付けます。

⑥「故障かな?」と思ったら

修理を依頼される前にご確認ください。

症 状

お調べください

電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか?
モーターの温度過昇防止装置が動作していますか?
ガード固定フックがゆるみませんか? 故障場所(取り付け場所)の強度は十分にありますか? 羽根のスピンドルがゆるみませんか?
各部固定ネジがゆるみませんか?
各部固定ネジをしっかりと締め付け、固定してください。

次のような場合には点検・修理が必要です。

長年ご使用の工業扇は点検を!

ご使用の箇どころはありますか?
●スイッチを入れても運転しないことがある。
●運転中に異常な音や振動がする。
●本体が変形していたり、異常に熱い。
●モーター部分が異常に熱い。
●異音・異臭がする。
●その他の異常がある。

ご使用中止
故障や事故防止のため、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてからお買上の販売店にご相談ください。
※お客様ご自身で修理された場合、手元を傷めたりすることは危険です。必ずお買上の販売店にご相談ください。

⑦保証とアフターサービス

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

「本体」の表示内容

経年劣化により故障の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

製造年 本体に西暦 4 桁で表示してあります
設計上の標準使用期間 5 年
設計上の標準使用期間を超えて使用されると、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

「設計上の標準使用期間とは?」
※運転時間や運転速度など、標準的な仕様条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※設計上の標準使用期間は、保証書に記載の無料修理期間とは異なり、偶発的な故障を保障するものではありません。

●標準的な仕様条件 日本工業規格(JIS C9921-1)による

電圧	単相100V
周波数	50Hz/60Hz
温度	30℃
湿度	65%
標準設置(取扱説明書による)	
負 荷 条 件	1日あたり1時間の使用時間 8(h/日) 1日使用回数 5(回/日) 1年間の使用日数 110(日/年) スイッチ動作回数 550(回/年) 首振り運転割合 100(%)

注記 温度30度、湿度65%は、JIS C9901の試験状態を参照している。
●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や取扱いに伴い生ずる劣化をいいます。

1. 保証書

●この製品には保証書が添付されています。
●保証書は、お買上の販売店にて「販売店名」をお買上日などの記入をご依頼のうえ、内容を良く読み、大切に保管してください。
●保証期間はお買上日より1年間です。

2. 修理を依頼するとき

●内部をさわらずに、お買上の販売店にご持参ください。保証の記載内容により修理いたします。
●修理箇所をさわらずに、お買上の販売店にご持参ください。保証の記載内容により修理いたします。
●保証期間が過ぎているときは、お買上の販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様の修理により修理いたします。

3. 補修用性能部品の最低保証期間

●この製品の補修用性能部品(製品の機能を保持するために必要な部品の最低保証期間)は、製造日より6年とされています。

4. アフターサービスについてご不明の場合

●修理サービスや商品についてのご相談は、お買上の販売店にご相談ください。
●ご相談や商品などのお問い合わせは、保証書に記載の当社まで、お任せください。

5

6

13

14